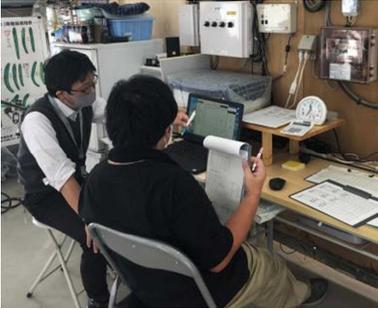


普及活動情勢報告（令和2年11月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

環境データを活用した管理をしよう！・・・環境制御技術アドバイザーによる指導・・・



10月21日、四万十市のキュウリ農家を対象に環境制御アドバイザーを招き、現地検討会及び勉強会を開催し、農家3名と関係機関12名が参加しました。

週一回の生育調査結果と環境データ等をもとに、現地検討会では、根張りの重要性やハウス内の温度管理、日射比例かん水に関する指導を受け、勉強会では、炭酸ガス施用による効果についての説明がありました。

農業改良普及課では、環境データの解析方法を学ぶとともに、JAと連携し、環境制御技術による増収に向けた支援をしていきます。

農高生がリモコン式自走草刈機の操作を体験！・・・スマート農業実証事業・・・



（公財）三原村農業公社を代表機関とするコンソーシアムは、（独）農研機構の「令和2年度労働力不足解消に向けたスマート農業実証」事業に採択され、実証機械としてリモコン式自走草刈機を導入しました。

そこで、10月26日に同公社ユズ園地に、幡多農業高等学校園芸科の生徒28人と教諭4名を招き、同草刈機の操作方法を習得するための実習を行いました。農業改良普及課は、進行管理役として関係機関と協力し、操作方法習得の支援を行いました。

今後も、同公社におけるスマート農業機器の有効利用について支援していく予定です。

自分で就農計画を作成しよう！・・・農業基礎講座～第3回実践編～・・・



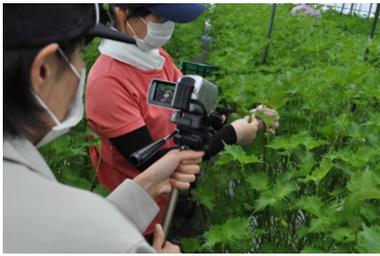
10月27日、農業基礎講座（第3回実践編）「就農計画の作成」を開催し、研修生や新規就農者等8名が参加しました。

講座では、キュウリ18aで経営改善資金計画を作成する演習を行い、研修生自らで計画作成を行いました。研修生からは「計画作成の注意点は分かったので、自分で計画を作成してみたい」という声が聞かれました。

農業改良普及課では今後も、研修生のスムーズな就農に向けて、各市町村の新規就農支援チームで支援していきます。

オオバほ場でカイゼンに取り組もう！

・・・四万十市オオバ生産者・・・



農業改良普及課は、10月29～30日に、四万十市のオオバ生産ほ場で、収穫や芽かき作業における「カイゼン」に向けたビデオ撮影を実施しました。

園主は、収穫や芽かき作業の効率化を課題としており、このビデオを活用して改善点を発見したり、コンサルタントの現地調査による支援を得ながら、具体的なカイゼン策を生産者と協議していく予定です。

広域連携組織の設立に向けて！

・・・土佐清水市集落営農組織連絡協議会・・・



11月11日、土佐清水市役所で、市内の3法人、1組織が集まり、土佐清水市集落営農組織連絡協議会が行われました。

協議会では、これまでにアンケート調査や視察研修を行い、広域連携の必要性や組織設立の勉強を重ねてきました。

今回、農業改良普及課から、広域連携組織の形態や具体的な活動内容等についての提案を行い、4組織で12月中に広域連携組織(任意組織)を設立し、次年度に法人化を目指すことが決まりました。では、広域連携組織の形態や規約等についての提案を行いました。

年度内を目処に、組織設立と広域連携組織のビジョン策定などの支援をしていきます。